

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

2022 年 6 月 20 日

尼崎市長 殿

提出者

住所 大阪市浪速区敷津東1-2-47
クボタ第二ビル6階
氏名 株式会社 クボタ建設 大阪支社
執行役員大阪支社長 永井 春樹
(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)
電話番号 06-4396-2351



廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	クボタ阪神工場営繕工事 K阪神管轄営繕
事業場の所在地	兵庫県尼崎市大浜町2-26他
計画期間	2022年4月1日～2023年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	06 総合工事業
②事業の規模	年間売上高 8,200百万円（令和3年度実績）
③従業員数	158名（令和4年4月時点）
④産業廃棄物の一連の処理の工程	<ul style="list-style-type: none">・建設汚泥 処理業者(脱水)委託(再資源化・埋立)・コンクリート破片 処理業者(破碎選別)委託(再資源化)・アスファルト・コンクリート破片 処理業者(破碎選別)委託(再資源化)・管理型混合廃棄物(廃プラ・紙くず・木くず・繊維くず・ゴムくず・金属くず・ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず) 処理業者(破碎選別)委託(再資源化)・がれき類 処理業者(破碎選別)委託(埋立)・鋳さい 処理業者(破碎選別)委託(埋立)・廃油 処理業者(焼却)委託(再資源化)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

		【前年度 (令和 3 年度) 実績】	
①現状	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	排出量		
	(これまでに実施した取組)		
		グループ会社の工場より解体撤去工事を多く受注した状況等により多量の排出物や排出量が発生した。 (主にコンクリートがら)	
		【目標】	
②計画	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	排出量		
	(今後実施する予定の取組)		
		大型の解体工事の計画がないため、大幅に排出量が縮減される。 (建設業における産業廃棄物の発生量は、工事量に左右されるため、排出の抑制についての立案が難しい)	

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 分別し削減を行っているが、全体量が少ないため、混合廃棄物については、中間処理業者にはほぼ100%委託している。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 現状維持を維持し、適正管理に努める。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和 3 年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t
	（これまでに実施した取組） 該当無し	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t
	（今後実施する予定の取組） 該当無し	

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和 3 年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t
（これまでに実施した取組） 該当無し		
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t
（今後実施する予定の取組） 該当無し		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和 3 年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	別紙のとおり t
	（これまでに実施した取組） 該当無し	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	別紙のとおり t
	（今後実施する予定の取組） 該当無し	

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和 3 年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	
	全処理委託量	t t
	優良認定処理業者への処理委託量	別紙のとおり t
	再生利用業者への処理委託量	t t
	認定熱回収業者への処理委託量	t t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t t
	（これまでに実施した取組） 優良産廃処分業者を選定し、排出廃棄物のリサイクルを推進してきた。	

②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	
	全処理委託量	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t
	再生利用業者への処理委託量	別紙のとおり
	認定熱回収業者への処理委託量	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t
	(今後実施する予定の取組)	
引続き排出廃棄物のリサイクルを推進し、優良認定業者との委託を増やすことで、適正管理の向上を進める。 また、電子マニフェスト化をより推進し、電子化100%を目指す。		

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによる減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

前 年 度 【 令 和 3 年 度 】 実 績 【 別 紙 】

提 出 者						
住 所	名 称	担当部署	担当者名	電話番号	FAX	電子メールアドレス
産業廃棄物を排出する事業場を総括的に管理する支店等の住所	産業廃棄物を排出する事業場を総括的に管理する支店等の名称	報告担当部署の名称	報告担当者の氏名	報告担当部署の電話番号	報告担当部署のFAX番号	報告担当部署の電子メールアドレス

産業廃棄物の種類	計 画 の 実 施 状 況															②+⑧	③+⑨					
	コード	名称	①排出量 (t)	②自ら直接 再生利用した量 (t)	③自己直接埋立 処分又は海洋投 入処分した量(t)	④自ら中間処理した 量(t)	⑤④のうち 熱回収を行った量 (t)	⑥自ら中間処理 した後の残存量 (t)	⑦自ら中間処理 により減量した量 (t)	⑧自ら中間処理 した後再生利用 した量(t)	⑨自ら中間処理した 自埋立処分又は海 洋投入処分した量(t)	⑩直接及び自ら 自己処理した後の 処理委託量(t)	委託先による区分					⑪優良認定処理業者 への処理委託量(t)	⑫自ら再生利用 を行った量(t)	⑬自ら埋立処分又は海洋 投入処分を行った量(t)		
													⑭再生利用者への 処理委託量(t)	⑮熱回収認定業者 への処理委託量(t)	⑯熱回収認定業者以外の 熱回収業者への処理委託量(t)						⑰その他の中間処 理委託量(t)	⑱埋立処分委託量 (t)
コード 参照	産業廃棄物の種類	発生した産業廃棄物 の種類ごとの量	①の量のうち、中間 処理をせず直接自ら 再生利用した量	①の量のうち、中間 処理をせず自ら埋立 処分又は海洋投入 処分した量	①の量のうち、自ら 中間処理した産業 廃棄物の当該中間 処理前の量	④の量のうち熱回収 を行った量	自ら中間処理を行っ た後の量	④の量から⑤の量 を差し引いた量	⑥の量のうち、自ら 利用し、又は他人に 売却した量	⑥の量のうち、自ら 埋立処分及び海洋 投入処分した量	中間処理及び最終処 分を委託した量	⑭の量のうち、処理業者 への再生利用委託量 (⑭、⑮除く)	⑮の量のうち、認定熱回収施 設設置者である処理業者へ の焼却処理委託量	⑯の量のうち、認定熱回収施設設置者以 外の熱回収を行っている処理業者への焼 却処理委託量	⑰の量のうち、委託 して破砕等の中間処 理した量(⑱～⑳を 除く)	⑱の量のうち、直接 委託して埋立て最終 処分した量	⑲の量のうち、優良 認定処理業者への委 託処理量	②の量と⑧の量を 合計したもの(自動 計算)	③の量と⑨の量を合計 したもの(自動計算)			
1	0200	汚泥	13.20								13.20	1.32			11.88		13.20	0.00	0.00			
1	501	コンクリート破片	1,684.90								1,684.90	1,684.90					372.90	0.00	0.00			
3	1502	アスファルト・コンク リート破片	45.92								45.92	45.92					13.92	0.00	0.00			
4	2020	管理型建設混合廃 棄物	55.64								55.64	47.29		8.35			21.58	0.00	0.00			
5	1500	がれき類	7.40								7.40				7.40		7.40	0.00	0.00			
6	1400	鉱さい	1,858.59								1,858.59				1,858.59		1,858.59	0.00	0.00			
7	0300	廃油	128.00								128.00	12.80					128.00	0.00	0.00			
8	0600	廃プラスチック類	0.00								0.00							0.00	0.00			
9	0800	木くず	0.00								0.00							0.00	0.00			
10	1300	ガラスくず、コンク リートくず及び陶磁 器くず	0.00								0.00							0.00	0.00			
11	2440	がれき類(石綿含 有産業廃棄物)	0.00								0.00							0.00	0.00			
12	2410	建設系混合廃棄物 (石綿含有産業廃 棄物)	0.00								0.00							0.00	0.00			
13	3100	廃電気機械器具 (照明機器)	0.00								0.00							0.00	0.00			
14																		0.00	0.00			
15																		0.00	0.00			
16																		0.00	0.00			
17																		0.00	0.00			
18																		0.00	0.00			
19																		0.00	0.00			
20																		0.00	0.00			
		合計	3,793.65	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	3,793.65	1,792.23	0.00	0.00	20.23	1,865.99	2,415.59	0.00	0.00			

(注1)トン未満は原則として四捨五入。ただし、数字が有効であれば小数点以下3桁まで記載は可。

今年度【令和4年度】目標【別紙】

提出者						
住所	名称	担当部署	担当者名	電話番号	FAX	電子メールアドレス
産業廃棄物を排出する事業場を総括的に管理する支店等の住所	産業廃棄物を排出する事業場を総括的に管理する支店等の名称	報告担当部署の名称	報告担当者の氏名	報告担当部署の電話番号	報告担当部署のFAX番号	報告担当部署の電子メールアドレス

産業廃棄物の種類	計 画 の 実 施 状 況																	
	①排出量	②自ら直接再生利用した量	③自己直接埋立処分又は海洋投入処分した量(t)	④自ら中間処理した量	⑤④のうち熱回収を行った量(t)	⑥自ら中間処理した後の残存量	⑦自ら中間処理により減量した量(t)	⑧自ら中間処理した後再生利用した量(t)	⑨自ら中間処理した自埋立処分又は海洋投入処分した量(t)	⑩直接及び自ら自己処理した後の処理委託量(t)	委託先による区分 (⑩=①-②-③-④+⑥-⑧-⑨=⑫+⑬+⑭+⑮)				⑪優良認定処理業者への処理委託量(t)	⑫再生利用	⑬+⑭	
	発生した産業廃棄物の種類ごとの量	①の量のうち、中間処理せず直接自ら再生利用した量	①の量のうち、中間処理せず自ら埋立処分又は海洋投入処分した量	①の量のうち、自ら中間処理した産業廃棄物の当該中間処理前の量	④の量のうち熱回収を行った量	自ら中間処理を行った後の量	④の量から⑤の量を差し引いた量	⑥の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量	⑥の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量	中間処理及び最終処分を委託した量	⑩の量のうち、処理業者への再生利用委託量(⑬、⑭除く)	⑩の量のうち、認定熱回収施設設置者である処理業者への焼却処理委託量	⑩の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の処理業者への焼却処理委託量	⑩の量のうち、委託して破砕等の中間処理した量(⑮～⑰を除く)	⑩の量のうち、直接委託して埋立て最終処分した量	⑩の量のうち、優良認定処理業者への委託処理量	⑫の量と⑬の量を合計したもの(自動計算)	⑬の量と⑭の量を合計したもの(自動計算)
1 0200 汚泥	3.00								3.00									
1 1501 コンクリート破片	337.00								337.00	0.30				2.70		3.00	0.00	0.00
3 1502 アスファルト・コンクリート破片	11.00								11.00	11.00						11.00	0.00	0.00
4 2020 管理型建設混合廃棄物	14.00								14.00	11.90				2.10		14.00	0.00	0.00
5 1500 がれき類	1.00								1.00					1.00		1.00	0.00	0.00
6 1400 鉱さい	465.00								465.00					465.00		465.00	0.00	0.00
7 0300 廃油	32.00								32.00	3.20						32.00	0.00	0.00
8																	0.00	0.00
9																	0.00	0.00
10																	0.00	0.00
11																	0.00	0.00
13																	0.00	0.00
14																	0.00	0.00
15																	0.00	0.00
16																	0.00	0.00
17																	0.00	0.00
18																	0.00	0.00
19																	0.00	0.00
20																	0.00	0.00
合計	863.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	863.00	363.40	0.00	0.00	4.80	466.00	863.00	0.00	0.00	

(注1)トン未満は原則として四捨五入。ただし、数字が有効であれば小数点以下3桁まで記載は可。